

茨木市立清溪小学校 全国学力・学習状況調査分析結果

令和3年10月作成

【今年度の結果と取組みについて】

○●国語●○

(領域ごと)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 良好な結果であった |
| ② A話すこと・聞くこと | 大変良好な結果であった |
| ③ B書くこと | 大変良好な結果であった |
| ④ C読むこと | 大変良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|-------|-------------|
| ① 選択式 | 大変良好な結果であった |
| ② 短答式 | 概ね良好な結果であった |
| ③ 記述式 | 大変良好な結果であった |

(無解答率)

大変良好な結果であった

(その他)

- ・もっとも正答率の高かった設問は、記述式をはじめ、多岐にわたっている。
- ・もっとも正答率の低かった設問は、短答式の部分であるが、概ね良好な結果である。

分析

- ・問題を解こうとする意欲の高さがあり、全ての問題に対して解答を記述しており、無回答率は極めて低い状況である。
- ・どの領域でも正答率は高く、国語の力がバランスよく身についている。
- ・問題形式に関わらず、正答できる力が身につけていることがうかがえる。

○●算数●○

(領域ごと)

- | | |
|-----------|---------------|
| ① A数と計算 | 大変良好な結果であった |
| ② B図形 | 大変良好な結果であった |
| ③ C測定 | 大変良好な結果であった |
| ④ C変化と関係 | やや課題が残る結果であった |
| ⑤ Dデータの活用 | 概ね良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|-------|-------------|
| ① 選択式 | 良好な結果であった |
| ② 短答式 | 良好な結果であった |
| ③ 記述式 | 大変良好な結果であった |

(無解答率)

大変良好な結果であった

(その他)

- ・もともと正答率の高かった設問は、数と計算であるが、それとほぼ変わらず記述式の部分も大変良好な結果であった。
- ・もともと正答率の低かった設問は、速さと道のりを基に、時間を求める式に表す問題であった。

分析

- ・無解答率が極めて低い状況であり、問題を解こうとする意欲の高さが感じられる。
- ・どの領域でも大変良好な正答率であり、基礎・基本の力が身につけていると思われる。
- ・問題形式においては、難易度の高い記述式の正答率が高く、全体的にも大変良好な正答率である。
- ・「変化と関係」の部分はやや課題が残る結果であった。速さに関する問題をはじめ、伴って変わる2つの数量の関係に着目し、筋道を立てて問題解決できるように指導する必要がある。

○●経年比較●○

全体的な傾向についての分析

- ・正答率は、年度によってばらつきはあるものの近年は全国平均を上回っている。
- ・無解答率は、全国平均を下回り、学習に対して意欲的であることがわかる。
- ・記述部分は、国語も算数も正答率が良く考えを書き表すことに慣れていると思われる。

学力高位層と学力低位層、エンパワー層についての分析

- ・学力高位層の割合は、年度によってばらつきはあるものの、増加傾向にある。
- ・学力低位層の割合は、年度によってばらつきはあるものの、減少傾向にある。

○●取組み●○

学力向上に関する取組み

- ・授業規律の確立による、落ち着いた学習環境づくり。
- ・合同授業の実施による、集団づくり。
- ・全校児童で取り組む「清溪広場」の活動による人間関係づくり。

★「学ぶ力」の育成

①基礎・基本の定着

- ・朝学習の実施 1・2年（国語・算数）3・4年（国語）5・6年（外国語）
- ・日々の家庭学習

②「読む」力の育成

- ・朝の読書タイム、音読カード・読書カードの活用、読書目標の設定、読書月間の取り組み、ともしび号の活用

③「書く」力の育成

- ・日記や作文等の日々の学習、「清溪広場」における体験学習の感想、読書感想文、などの取り組み

④「聞く・話す」力の育成

- ・見通しを持ち、筋道を立てて自分の考えを表現する場の設定（日常の授業の中で）
- ・児童朝会・委員会活動・「清溪広場」での「聞く・話す」態度の育成
- ・ビブリオバトルの実施と活用
- ・終業式で学期を振り返るスピーチ

⑤思考力・判断力・表現力の向上

- ・「清溪ランド（討論）」の設定（4～6 学年対象）3 年目

⑥わかる授業づくり

- ・研究主題を「自ら学び、思いを表現できる子どもをめざす～国語科を中心とした自己表現力を育む授業づくり～」と設定し、研究を進めている。
- ・学習についての児童アンケート、実態把握テストの実施と分析による取り組み
- ・研究授業事前研修会と研究授業検討会の実施